

6 世界に向けてはばたこう

総合的な学習の時間



授業の実際
4時間目 / 70時間

<導入>

学習のめあてを確認する。



©UNICEF/UN07651/Dubourthoumieu



©UNICEF/NYHQ2007-1657/Pirozzi



©UNICEF/UNI192392/EI Baba

写真出典…のぞいてみよう、
世界の子どもたちのくらし
(日本ユニセフ協会 HP より)



©UNICEF/UNI103753/Rich

💡 世界の子供たちの様子を見て疑問に思ったことや予想から学習課題を設定しましょう。

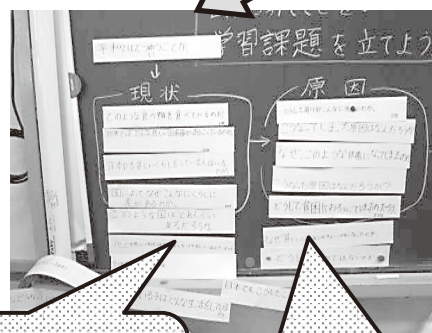
<展開>

追究すべき学習課題を設定しよう。

こうなってしまった原因は何だろう。

他の地域や日本でも同じようなことが起きているのかな？

解決するための手段はあるのかな。調べたいな。



去年の学習と同じように、問題の現状を調べることが必要だ。

世界を平和にするためには、その問題の原因、対策も調べた方がいいな。

<終末>

💡 今日の学習は問題解決の過程のどの段階でしたか。振り返りの視点から選びましょう。
💡 その視点を選んだ理由を書きましょう。

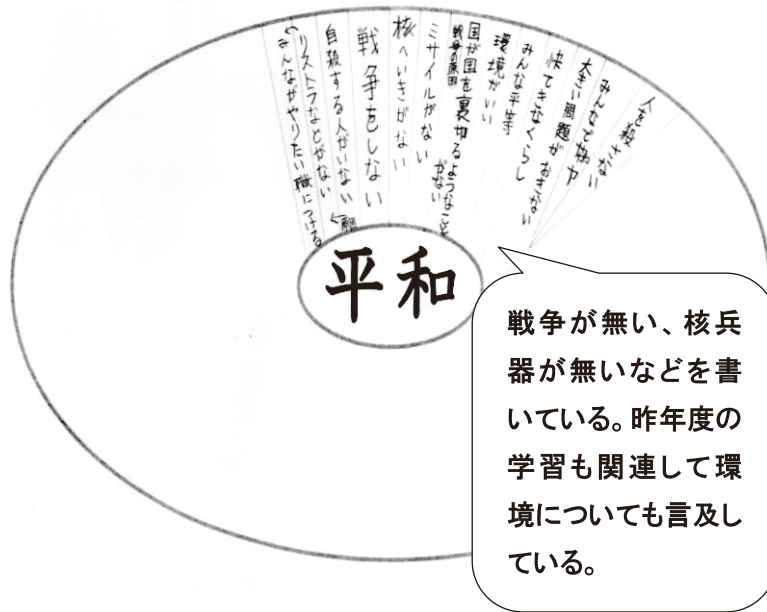
- 世界には自分たちの暮らしとは違う子供がいた。そんな子供たちが平和な暮らしができるように、追究したい課題を見付け、どのように学習を進めていかを考えることができた。
- 学習計画を立てられた。平和とはどういうことかを最初に考え、学習の最後にもう一度平和とはどういうことかを考えたい。そうすれば、最初と最後で平和について(の見方が)大きく変わるのではないかと思った。
- みんなが考えたいこととして、現状や原因、対策についての意見が多かったので、重要度が高いのだと思った。写真を撮った人の心情や写っている人たちの気持ちもできれば聞いてみたい。

67

シリアの写真家、
吉竹めぐみさんの
講演

平和のイメージをえがこう。

○平和って、どういうことだろう。身の回りのこと、世界のこと、様々な視点から考えよう



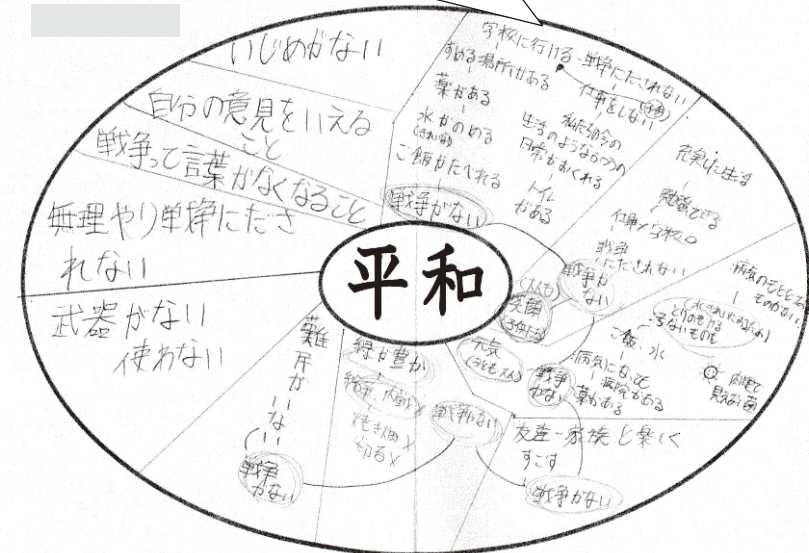
企業×UNHCR
「届けよう！服のチカラプロジェクト」

ユニセフ
「世界の子供たちの暮ら

ワールドビジョンジャパン
「世界の子供の問題」

世界が置かれている現状について考え、戦争が無いことに関する具体的なイメージが増えた。

平和って、どういうことだろう。



平和のイメージをもつ1回目の学習では、戦争、殺人、ミサイル、核兵器が無いなどの問題や、みんなが平等で国同士の関係が良好であること、快適な暮らしができること、協力すること、自殺者がいないこと、仕事があることなど、思い付いたとおりに書き連ね、分類もされていないが、2回目の平和のイメージでは、調べ学習を進めたことで繋がりを考えてイメージできている。具体的な事柄を「戦争がないこと」として価値付け、問題の根源にはやはり戦争が関わっているのではないかと気づき始めている。外部機関と連携しながら学習したことで、平和についての価値観が広がったと言える。

平和な社会の創造という目標に対し、児童は目標を達成するために追究していくべき課題を考えて問題解決に臨んだ。その第一歩として、平和とは何かについて、自分のイメージを描いた。身の回りのことや世界のことなど、様々な視点から児童のもっているイメージを言葉に表している。

学習を進める前の 4 月では、平和に対して、環境が良い、暮らしに不便が無いなどのイメージをもつ児童が多かった。2 回目の 9 月に改めて聞いてみたところ、そのようなイメージもありながら、戦争や紛争が無く、安全な暮らしができる、衣食住に困らないなどのイメージももっており、変容した姿が見られた。このことから、学習を経て、平和についての価値観が広がったと言える。